

2025年3月期 第2四半期決算補足資料

株式会社IMAGICA GROUP
証券コード：6879

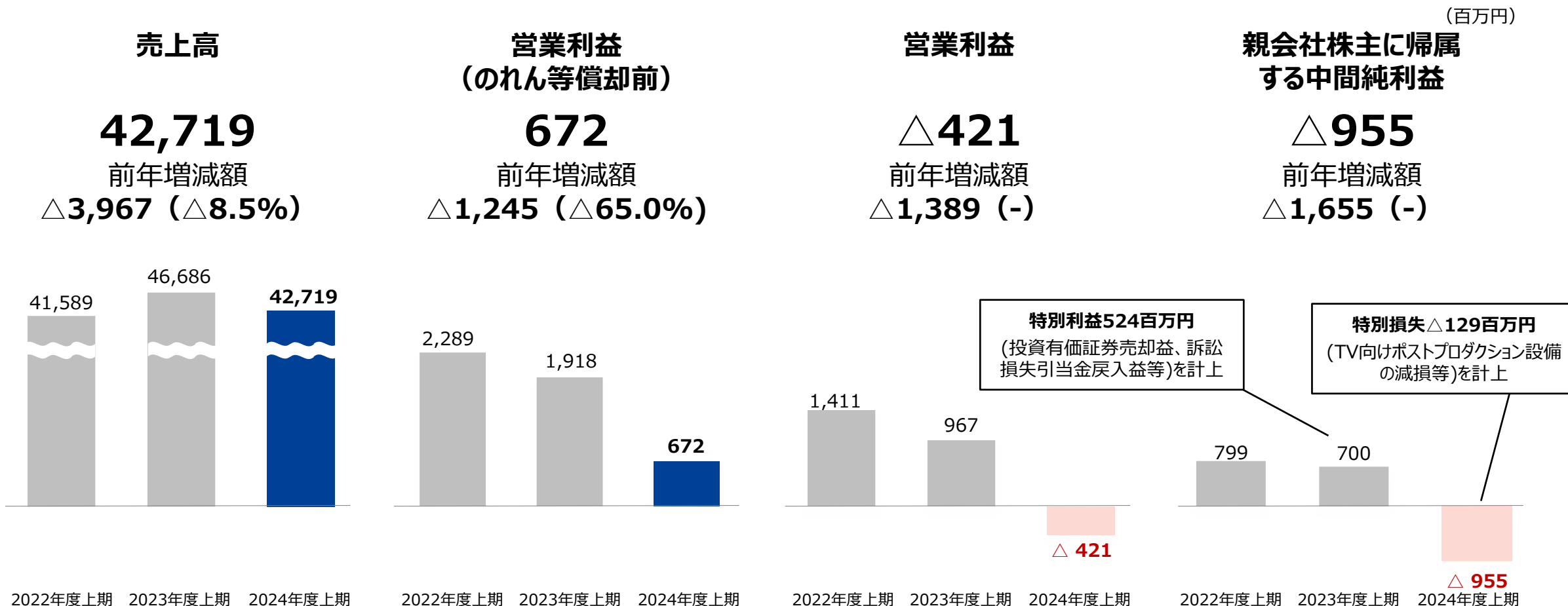
2024年10月31日



※2024年度＝2025年3月期

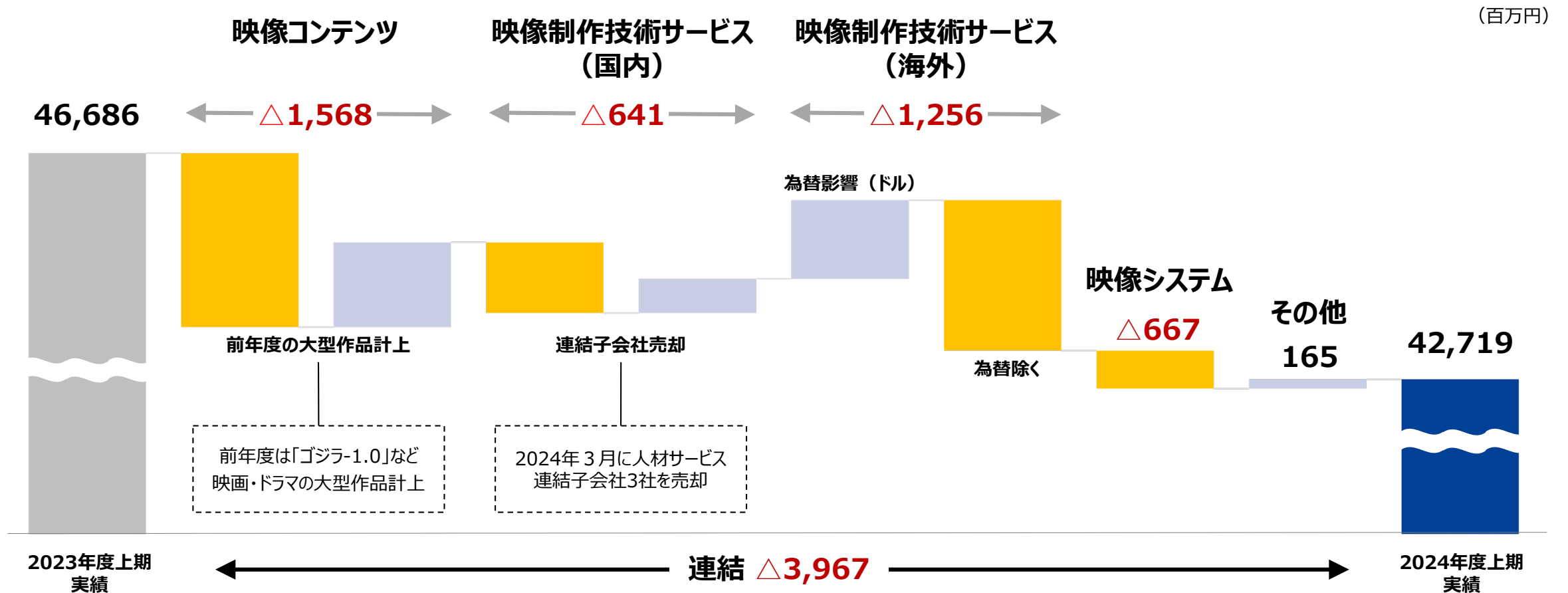
決算ハイライト

- ・国内事業は好調も海外事業が苦戦し、連結では減収減益
- ・海外事業の営業赤字の影響が大きく、連結では営業損失、純損失を計上



売上高 前年増減分析

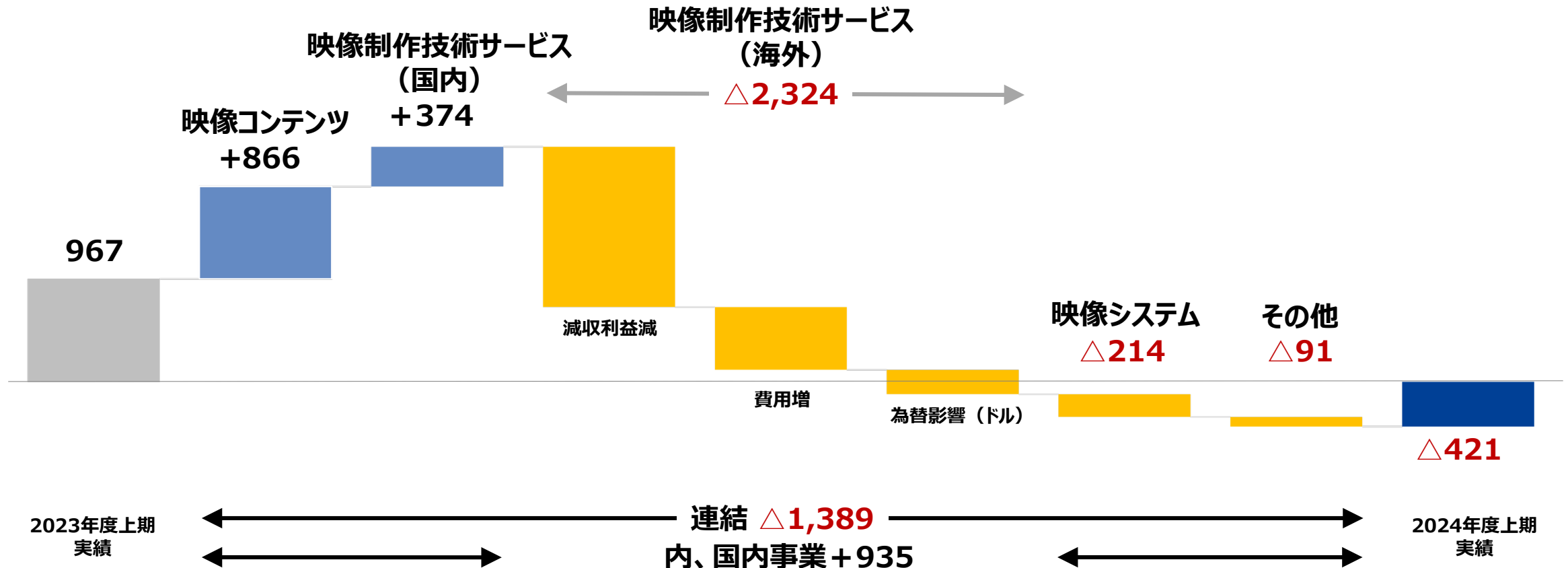
- ・海外事業は減収も、国内事業は連結子会社売却や前年度の大型作品計上の反動を除けば増収



営業利益 前年増減分析

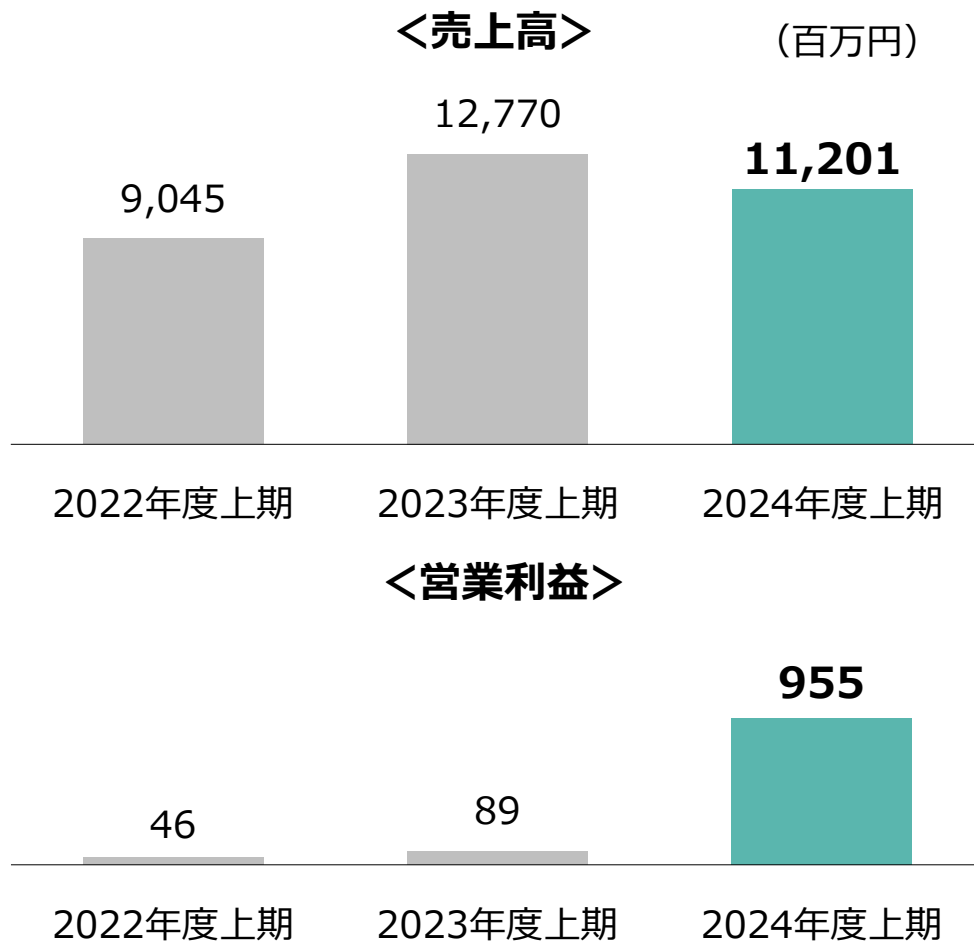
- ・国内事業は主に映像コンテンツの好調に支えられ増益
- ・海外事業は減収による利益減に加え、費用増・為替影響で大幅減益

(百万円)



映像コンテンツ事業

- ・劇場映画・ドラマの大型作品減で減収も、アニメ制作、出版、CM制作好調で大幅増益



減収増益

売上高 (減収)	△1,568 (△12.3%)
営業利益 (増益)	+866 (+971.8%)

劇場映画・ドラマ作品

- ・前年度の大型作品計上の反動も、制作映画の成功報酬の計上等もあり利益確保

アニメーション制作

- ・TVシリーズや動画配信向けのCGアニメーション作品が寄与し利益の改善進む

出版

- ・「薬屋のひとりごと」の原作小説やコミックスの販売が好調
- ・TVアニメ制作委員会からの配分金収入等を計上

CM制作

- ・TV向けの受注が好調に推移

映像コンテンツ事業 TOPIC

・TVアニメ『薬屋のひとりごと』第2期放送日決定

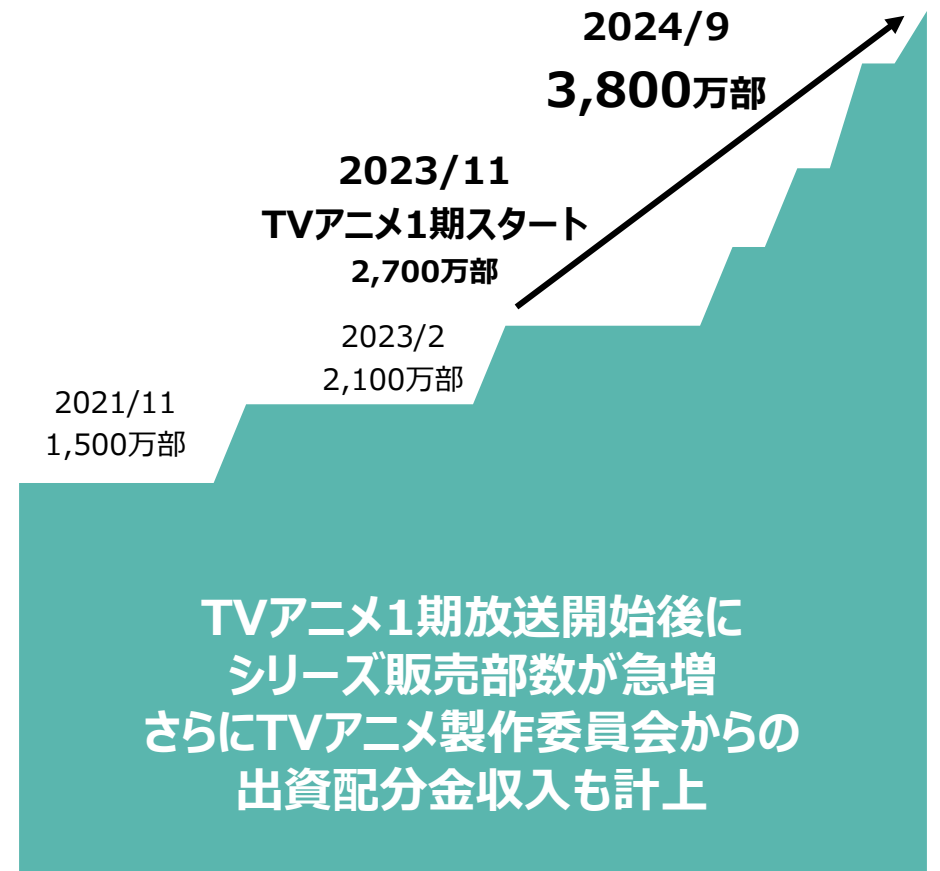
2025年1月10日から連続 2クールで放送決定。
毎週金曜よる11時 日本テレビ系「FRIDAY ANIME NIGHT」にて
全国同時放送。

※放送日時は予告なく変更になる場合がございます



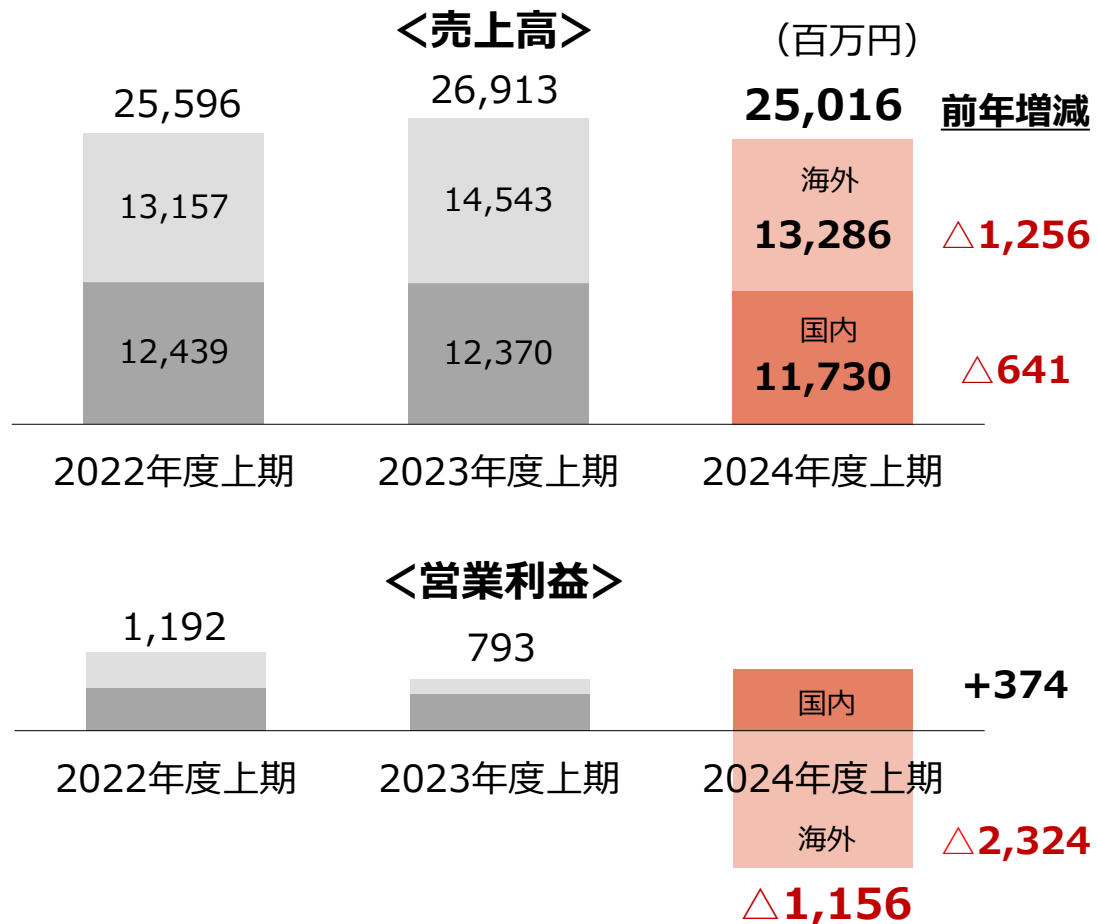
©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

<「薬屋のひとりごと」シリーズ累計販売部数推移>



映像制作技術サービス事業

- 国内E2E、ゲーム関連、TVCMポストプロ好調も、海外E2Eは需要が前年度の水準に戻らず減収減益



減収減益

売上高（減収）	△1,897（△7.0%）
営業利益（減益）	△1,950（-）

E2Eサービス（国内）

- 映画向けの編集サービスやデジタルシネマ向けサービス等が好調

ゲーム関連事業

- 制作規模拡大や受注増により増収

TV向けポストプロダクションサービス

- CM向けの受注は堅調も、番組向けが低調に推移

E2Eサービス（海外）

- ローカライズの受注が前年度水準に戻らず大きく減収
- 人員整理等のコスト削減実施も、減収による利益減を補えず大幅な減益

海外E2E事業の取り組み

現状

- ・ 前年度の米国ハリウッドストライキの影響は終息したが、売上高は2021年下期の水準までしか回復せず、大幅な減益
- ・ 2022-2023年の拠点拡張で従業員数は増加

認識

事業サイズの変化に合わせた適正な人員配置が必要

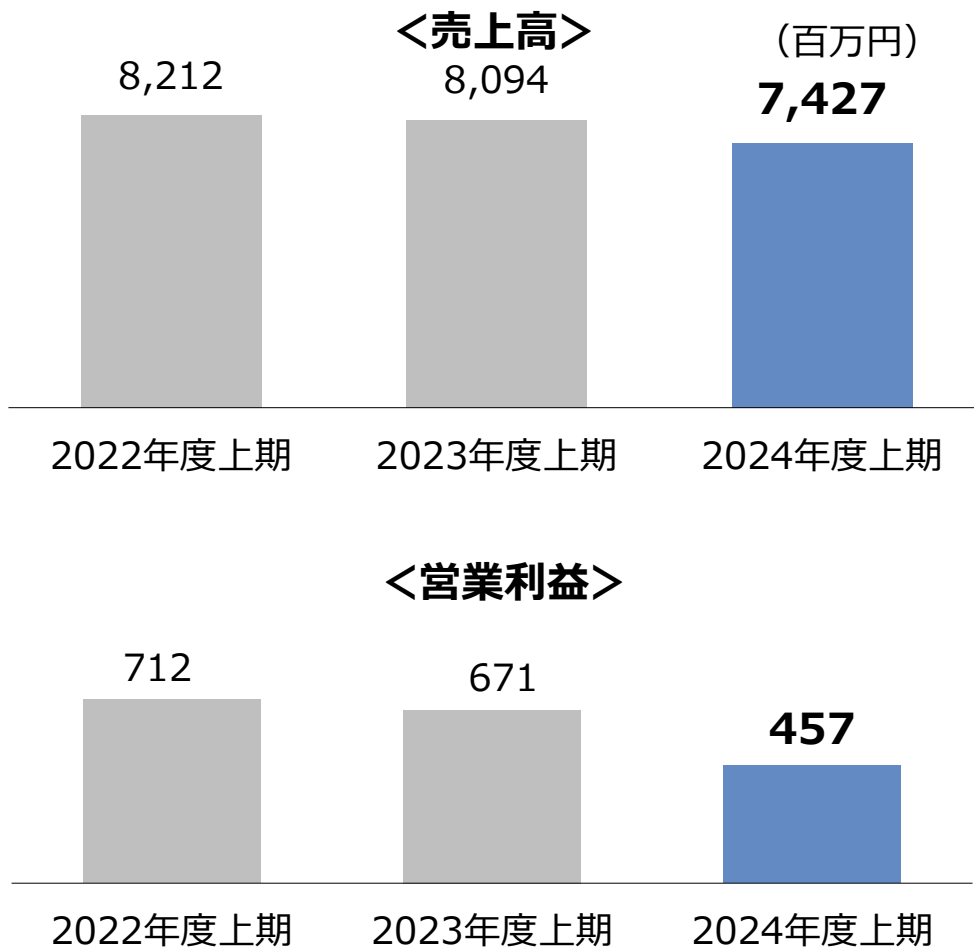
対策

2024年に2回の人員整理を実施（事業部門・管理部門）

- ・ 2024年6月実施（90名）2024年10月実施（70名）
- ・ **2回の人員整理で年間約13百万ドルのコスト軽減**
- ・ 今後も事業サイズの変化に応じて、適宜コストダウンを実施し、利益体質を確保

映像システム事業

・ハイスピードカメラの中国向け市場が減速、放送映像システム、光学計測も低調に推移



減収減益

売上高（減収）	△667（△8.2%）
営業利益（減益）	△214（△31.9%）

ハイスピードカメラ

- ・中国除く海外及び国内向けは堅調も、中国向けが市場の減速により減収

放送映像システム

- ・前年度の大型案件計上の反動により減収

光学計測

- ・海外での計測装置引き合いが弱く減収

セグメント別見通し対比

- ・映像コンテンツ、映像システムは見通しに対し順調も、映像制作技術サービスの海外事業の悪化が想定を超え、連結では営業利益は見通し未達

(百万円)		2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年増減	見通し対比 営業利益	見通し差異要因
映像コンテンツ	売上高	12,770	11,201	△ 1,568	 +5%超過	・ 出版事業が好調（書籍販売、コミカライズロイヤリティ、TVアニメ製作委員会からの配分金収入等） ・ アニメ制作はコスト管理が進み利益率向上
	営業利益（のれん等償却前）	91	960	868		
	営業利益	89	955	866		
映像制作 技術サービス	売上高	26,913	25,016	△ 1,897	 △5%超過	・ 海外事業の需要が想定水準を大幅に下回る ・ TV向けポストプロダクションサービスの受注が低調
	営業利益（のれん等償却前）	1,723	△ 85	△ 1,809		
	営業利益	793	△ 1,156	△ 1,950		
映像システム	売上高	8,094	7,427	△ 667	 +5%超過	・ ハイスピードカメラは、中国向けの販売は減速も、その他海外向けの販売は堅調
	営業利益（のれん等償却前）	689	475	△ 214		
	営業利益	671	457	△ 214		
連結合計	売上高	46,686	42,719	△ 3,967	 △5%超過	
	営業利益（のれん等償却前）	1,918	672	△ 1,245		
	営業利益	967	△ 421	△ 1,389		

2024年度 通期業績予想

詳細は、2024年10月31日付の
「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください

- ・映像制作技術サービスの海外事業の悪化と映像コンテンツの好調を織り込み、業績予想を修正
- ・安定配当の方針から、1株当たり配当金は変更なし

(百万円)	2023年度	2024年度				
	実績	5月9日 業績予想	今回 修正予想	5月9日比 増減額	2023年度比 増減額	2023年度比 増減率
売上高	99,684	98,000	96,000	△ 2,000	△ 3,684	△ 3.7%
営業利益（のれん等償却前）	5,901	5,800	3,400	△ 2,400	△ 2,501	△ 42.4%
(利益率)	5.9%	5.9%	3.5%			
営業利益	3,924	3,700	1,200	△ 2,500	△ 2,724	△ 69.4%
(利益率)	3.9%	3.8%	1.3%			
経常利益	3,727	3,200	800	△ 2,400	△ 2,927	△ 78.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,373	2,000	△ 900	△ 2,900	△ 3,273	-
1株当たり当期純利益（円）	53.57	45.25	△ 20.36	△ 65.61	△ 73.93	-
1株当たり配当金予想（円）	15.0	15.0	15.0	0.0	0.0	

2024年度 セグメント別業績予想

・映像制作技術サービスの海外事業の悪化と映像コンテンツの好調を織り込み

(百万円)		2023年度	2024年度			
		実績	5月9日 業績予想	今回 修正予想	5月9日比 増減額	2023年度比 増減額
映像コンテンツ	売上高	28,186	24,300	25,300	1,000	△ 2,886
	営業利益	1,276	1,310	1,660	350	384
映像制作 技術サービス	売上高	53,967	55,100	52,100	△ 3,000	△ 1,867
	営業利益	1,430	1,350	△ 1,500	△ 2,850	△ 2,930
映像システム	売上高	19,756	20,300	20,300	0	544
	営業利益	2,404	2,270	2,270	0	△ 134
連結合計	売上高	99,684	98,000	96,000	△ 2,000	△ 3,684
	営業利益	3,924	3,700	1,200	△ 2,500	△ 2,724

予想比増減内訳

映像コンテンツ

- ・ 出版事業が好調（書籍販売、コミカライズロイヤリティ、TVアニメ製作委員会からの配分金収入等）
- ・ アニメ制作はコスト管理が進み利益率向上

映像制作技術サービス

- ・ 海外事業とTV向けポストプロダクションサービスが前回公表を下回る見込み
- ・ 海外事業は需要が想定水準を大幅に下回り、為替込みで売上高と営業利益は前回公表を下回る見込み
- ・ このような状況に対処するため、人員整理等によるコストダウンをすでに開始し、収益改善に注力中

Appendix.

連結損益計算書

(百万円)	2023年度上期 実績	2024年度上期 実績	前年増減額	前年増減比
売上高	46,686	42,719	△3,967	△8.5%
売上総利益	12,864	12,726	△138	△1.1%
(利益率)	27.6%	29.8%		
営業利益	967	△421	△ 1,389	-
(利益率)	2.1%	-		
経常利益	938	△803	△ 1,741	-
(利益率)	2.0%	-		
特別利益	524	52	△472	△90.1%
特別損失	16	129	113	677.4%
税金等調整前当期純利益	1,445	△881	△2,327	-
親会社株主に帰属する当期純利益	700	△955	△ 1,655	-
EBITDA	3,117	2,186	△931	△29.9%
(参考)営業利益 (のれん等償却前)	1,918	672	△ 1,245	△65.0%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※営業利益 (のれん等償却前) = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

※2024年3月末の数値については、前連結会計年度における
企業結合に係る暫定的な会計処理の確定内容を反映

(百万円)	2024年3月末*	2024年 9 月末	増減額	主な増減要因
資産の部				
流動資産	41,288	40,457	△831	{ 受取手形、売掛金及び契約資産 △4,355 棚卸資産 + 2,755
うち現預金	5,242	4,914	△327	
固定資産	37,405	38,035	629	
うちのれん	11,411	11,972	561	
資産合計	78,694	78,492	△202	
負債・純資産の部				
流動負債	28,950	30,058	1,108	{ 支払手形及び買掛金 △930 契約負債 + 1,999
うち短期借入金	5,143	7,795	2,652	
固定負債	9,837	8,962	△875	
うち長期借入金	3,120	2,455	△665	
負債合計	38,788	39,020	232	
株主資本	33,731	31,829	△1,901	
その他包括利益累計額	4,097	5,887	1,790	
非支配株主持分	2,077	1,754	△323	
純資産合計	39,906	39,471	△434	
負債純資産合計	78,694	78,492	△202	
ネット資金	△3,021	△ 5,336	△ 2,314	(現預金－長短期借入金)

事業セグメント別 連結子会社一覧（2024年9月末現在）

*：海外子会社

映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

映像制作技術サービス事業

連結子会社：20社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネク

Pixelologic Holdings LLC*

PPC Creative Limited*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社コスモ・スペース

株式会社ウェザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

映像システム事業

連結子会社：8社

株式会社フォトロン

フォトロン M&E ソリューションズ株式会社

PHOTRON USA, INC. *

PHOTRON EUROPE LIMITED*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニククラティス

会社概要

経営理念

私たちは、誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、
世界の人々に「驚きと感動」を与える
映像コミュニケーショングループを目指します。



会社名	株式会社IMAGICA GROUP
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 俊二郎
設立	1974年6月10日（創立：1935年2月18日）
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
連結子会社	37社（2024年4月1日現在）
資本金	33億6百万円
事業内容	映像コンテンツ事業、映像制作技術サービス事業、 映像システム事業等を営むグループ会社の事業の統括
従業員数	4,202名（1,277名）（2024年3月31日現在） ※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております
連結売上高	996億84百万円（2024年3月期）

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP

経営戦略部

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。